どんな人々や組織が関わっていますか？

FEAST
みんなで作る「いただきます」

都市のフードポリシー・スターターキット 1

エクササイズ

あなたの町や国の、食が関わるコンセプト、アクション、人や組織、部門、インフラを、それぞれリストアップしてみましょう。
5 つのリストができたら、それぞれの層の重なり合い方や、相互作用を考えてみましょう。

コンセプト

- 住み続けたい町のあり方について話し合える
- いろいろな人たちと一緒に暮らせる
- 病気になっても安心
- 安全な水や栄養のある食べ物が手に入る
- 働きがいのある仕事に就ける
- 人権に配慮した法や制度がある
- 持続可能なエネルギー・水・食料のつながり
- 災害に強い
- 誰にでも学習できる機会がある
- 海や陸の豊かさを損なわない

オランダのある町のフードポリシーの標語：「この町が食で何をするか」ではなく、「食がこの町に何をしてくれそうか」を考えよう

アクション

- 子どもの栄養状態の改善
- 環境保全プログラムの提案
- 政策立案・政策評価のための勉強会
- 公的計画の見直しの提案
- フードポリシー・カウンシルの立ち上げ
- インフラのメンテナンス
- 市民農園の活用の拡大
- 資金調達
- 新規就農者のトレーニング
- 地域の食消費調査
- コンポスト、リサイクル

人や組織

栄養士、研究者、医療関係者、教員、議員、市長、金融サービス、NPO、マーケティング・ブランディング、農家、園芸業者、卸売業者、運送業者、観光客、小売業者、加工業者、マスコミ、レストラン・料理人、廃棄物処理センター、地域自治体の職員

部門

環境、行財政、文化、産業観光、保健、教育、都市計画、交通

インフラ

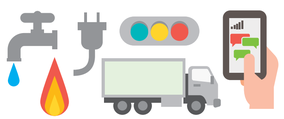
スペシャリスト
現場の経験知、科学的知見、アーカイブなど

それらの人や設備にアクセスできることも大事

公共調達
学校・病院・警察署・消防署・役所・図書館など

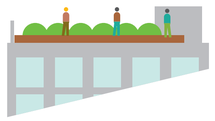
公共施設の食堂とのコラボレーションの事例は多い

ライフライン
電気、ガス、上下水道、交通、通信、輸送など



災害に強いまちづくりを考えるうえで重要

生産と加工
コミュニティ・ガーデンや屋上菜園なども含む

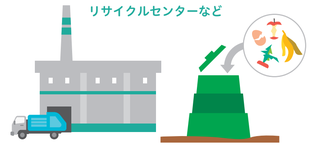


さまざまな生産形態があるのは重要

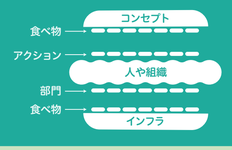
流通と小売り網
産消提携、ファーマーズマーケットなども含む

マルシェはいろいろな場所で行われています

廃棄物処理・再活用
リサイクルセンターなど



毎日、捨てられるゴミがあふれないようにするために



コンセプト：　人々や組織が一緒に行動するときの指針・未来像
人や組織など：　現在行われている食に関わる取り組み・仕組み
インフラ：　食以外の生活や産業も支える社会基盤

3 つの層を重ねることで、都市の内と外に広がる食のつながりが見えてきます。

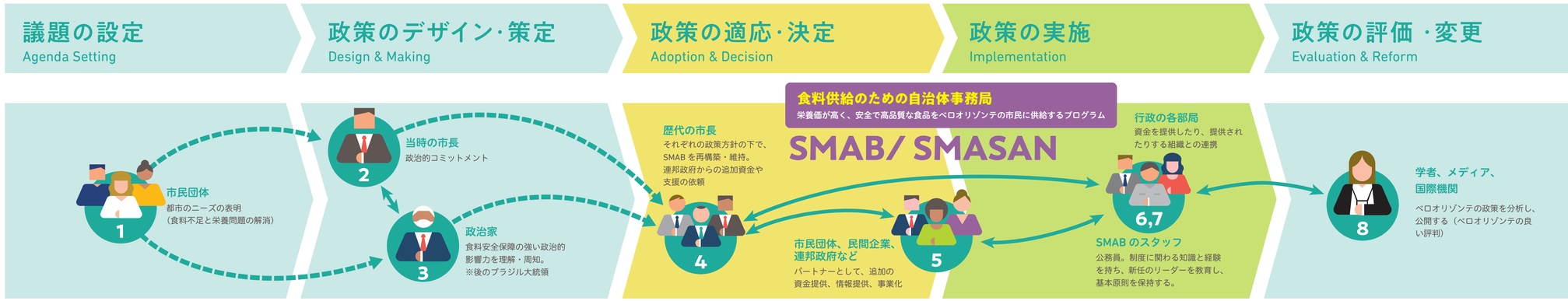
都市のフードポリシーとは、食が関わる社会問題（貧困、防災など）への、政策・施策・事業のこと。
都市のフードポリシーは、その町や国にあるコンセプト、人や組織、アクション、部門、インフラと協調・連携して策定されます。
自治体（行政）との連携のない独立した取り組みは、都市のフードポリシーには含まれません。

どんな取り組みが世界で行われていますか？

FEAST
みんなで作る「いただきます」

都市のフードポリシー・スターターキット 2

2015 年に開催されたミラノ万博で、都市の食のあり方を持続可能なものにするための
取り組みと宣言をまとめた「**都市食料政策ミラノ協定 (Milan Urban Food Policy Pact)**」が締結されました。
世界各国の 210 都市（2020 年 7 月時点）が署名し、日本では京都市、大阪市、富山市が参加しています。
この都市のなかから、特に 3 つの取り組みをご紹介します。



ブラジル

ベロオリゾンテ市

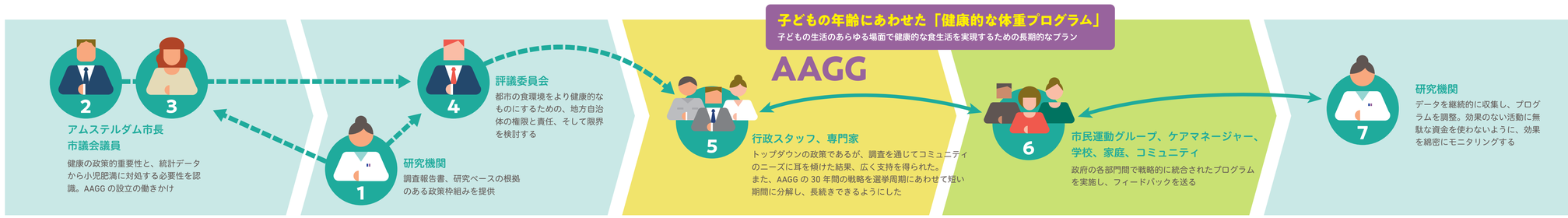
人口 250 万人 【大阪市と同じくらい】

課題 **栄養失調**

- 市政と市民運動がタッグを組む
- 歴代市長に活動が受け継がれる
- 研究機関からチェックを受ける

ベロオリゾンテは世界に先駆けて、1993 年に統合的なフードポリシーとその実践のための組織を作りました。「飢餓を終わらせた都市」とも呼ばれています。

市民活動家 (①) らの呼びかけもあって、後のブラジル大統領のルーラ (③) と当時のベロオリゾンテの市長 (②) は、「食料供給のための自治体事務局（SMAB）」を設立。SMAB は、健康、教育、都市計画、廃棄物処理などの関連部門と連携し、さまざまなプログラムやパートナーシップが相乗効果を生むように働きかけました。
歴代の市長 (④)、市民団体・民間企業・連邦政府など ((⑤)、SMAB のスタッフ (⑥) と行政の各部局 (⑦) の、息の長い活動により、栄養失調の問題が解消され、地域経済が活発化し、地域の小規模農業者の生活が向上しました。活動は、学者・メディア・国際機関 (⑧) によって分析され、公開され、良い循環を生みました。



オランダ

アムステルダム市

人口 80 万人 【新潟市と同じくらい】

課題 **子どもの肥満**

- 将来のための予防策と、現在の問題解決を両方行う
- 「実践しながら学び、学びながら実践する」
- 最長で 1 世代分 (およそ 20 年間) の予算を組む

2013 年、アムステルダムでは 4 ～ 5 人に 1 人の子供が肥満気味であることが社会調査でわかりました。特に移民家庭や低所得家庭の子供の健康状態には、多くの問題が見いだされました。

研究機関 (①) からの調査報告を受けたアムステルダム市長 (②) と市議会議員 (③) は、評議委員会 (④) との議論をふまえ、行政スタッフや専門家 ((⑤) とともに、子どもの生活のあらゆる領域に手を差し伸べる長期的なプランの開発に着手しました。市民運動グループやケアマネージャー、学校、家庭、コミュニティ (⑦) と連携し、
研究機関 (⑧) からのフィードバックを受けつつ、「健康的な体重プログラム」(AAGG) が実施されています。AAGG は、第一世代の「健康な世代」の子どもたちが 18 歳の誕生日を迎える 2033 年までの予算が組まれています。

カナダ

ゴールデンホースシュー *

人口 780 万人 【愛知県よりやや多い】

課題 **都市と食料生産地の連携**

- 各分野のこれまでの活動の報告書を読み合わせる
- 粘り強く対話する（タオルを投げない）
- 第三者の力をうまく借りる

* オンタリオ湖の西部に広がる、トロントを含む 7 つの自治体で構成される地域。

ゴールデンホースシューでは、1990 年代に農家と都市開発の事業者の間で土地をめぐる摩擦が激しくなり、両者が受け入れ可能な解決策を見つけるため、対話と協力が始まりました。

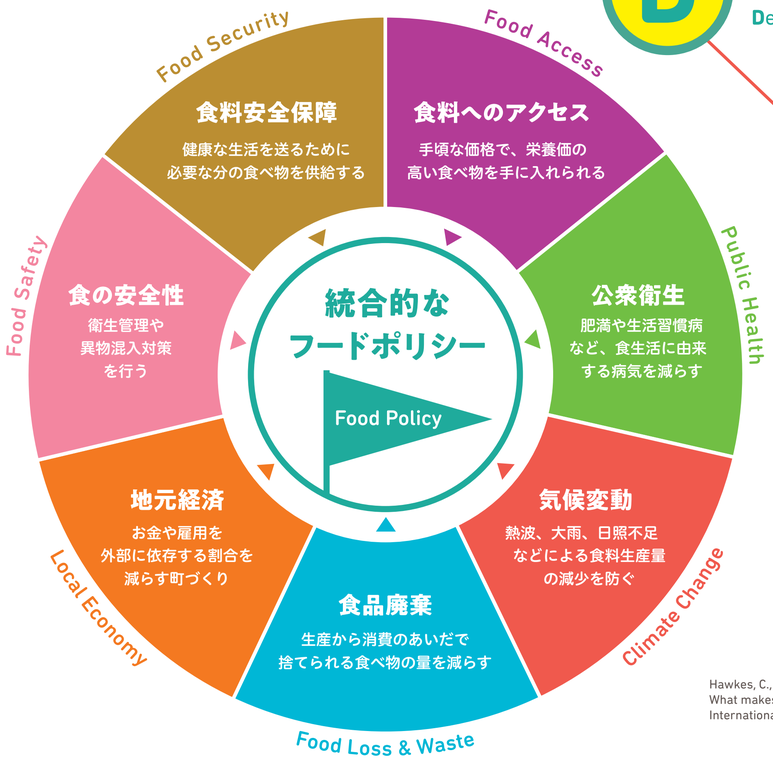
農家をはじめとするさまざまな分野の関係者ら (①) は都市圏の行政 (②) の支援を受けて、GHFAA を結成。互いの利害関心を、フードポリシー・カウンシルやコントサルタント (③) の仲介などを得つつ調整しました。
2012 年、各地域の食料・農業ネットワークと、自治体、州政府 (④) は、5 つの大目標を持つ 10 年間 (2012-2021) の活動計画 (GHFFP) を策定しました。自治体 (⑤) の政治的コミットメントと資金提供を受けて、同盟と計画の運営状況は誰でも確認できるようになっています。

“どうやって計画を立てれば良いですか？”

FEAST
みんなで作る「いただきます」

都市のフードポリシー・スターターキット 3

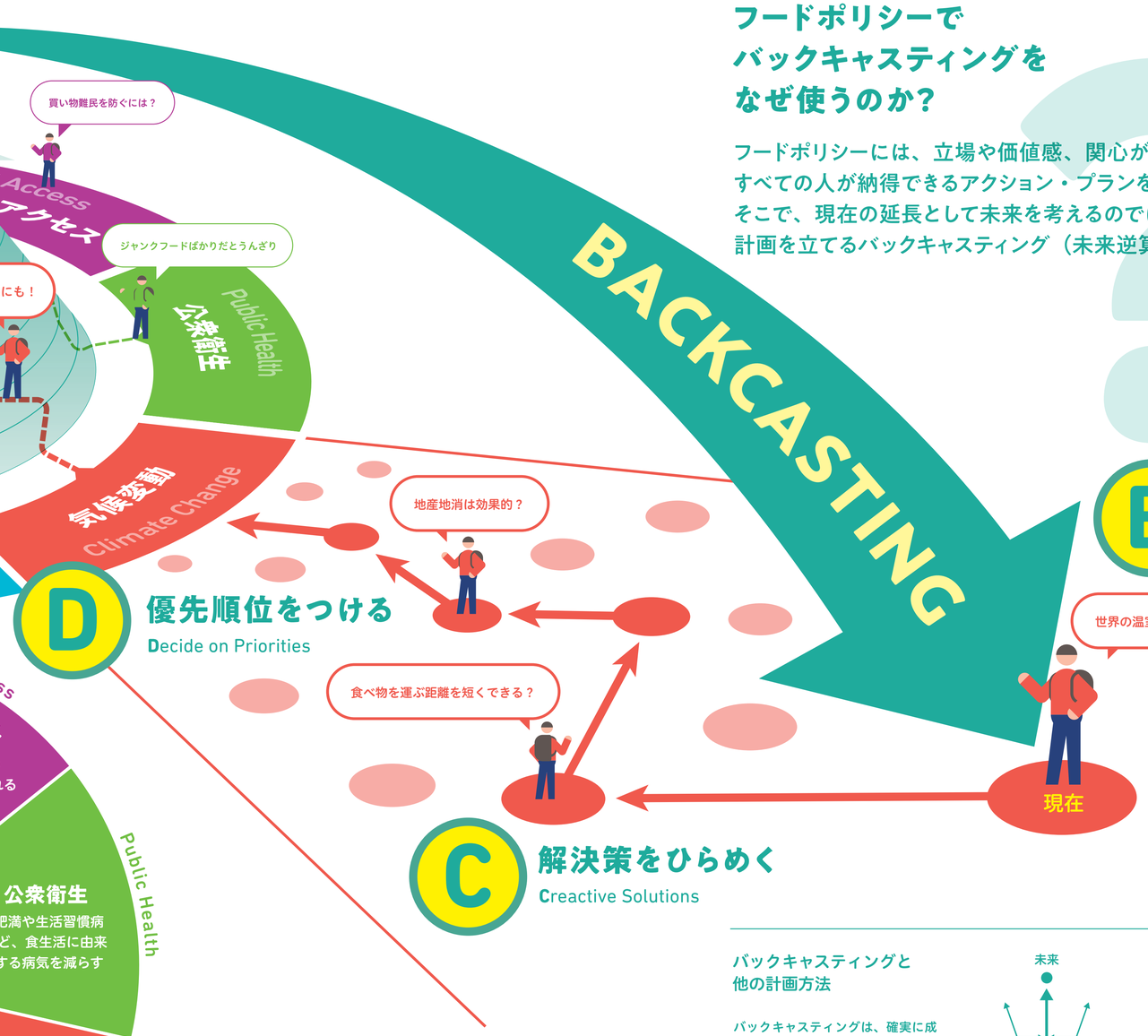
A ゴールを決める
Awareness & Defining success



Hawkes, C., & Halliday, J. (2017).
What makes urban food policy happen? Insights from five case studies.
International Panel of Experts on Sustainable Food Systems.

フードポリシーで バックキャスティングを なぜ使うのか？

フードポリシーには、立場や価値感、関心が異なる多くの人々が関わります。
すべての人が納得できるアクション・プランを作るのは不可能でしょう。
そこで、現在の延長として未来を考えるのではなく、**「未来のあるべき姿」**を起点にして計画を立てるバックキャスティング（未来逆算思考）がよく用いられます。

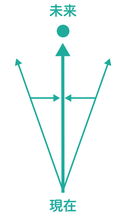


バックキャスティングが得意なのは、具体策がわからないような問題に取り組む手がかりを見つけたり、新しい発想を生みやすくしたり、目先の利害関心を越えて連携を築くことです。**「未来のあるべき姿」**が起点になるので、10 年、20 年単位の長期的目標を立てることにより向いています。いろいろな人とバックキャスティングを重ねることで、多様な価値観や知識に接する社会学習の場にもなります。

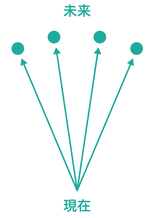
出典：ABCDタイプのバックキャスティング（https://www.naturalstep.ca/abcd）

バックキャスティングと他の計画方法

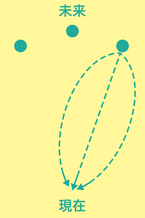
バックキャスティングは、確実に成果が必要な短期的実践には、結びつかないことがあります。そこで、フォアキャスティングやシナリオ・プランニングなどとあわせて用いることで、より効果的にフードポリシーやアクションプランの立案を行うことができます。



フォアキャスティング
Forecasting
過去のデータや経験にもとづいて「もっともありうる未来の姿」を予測する



シナリオ・プランニング
Scenarios
状況の変化に対応した「いくつかのありうる未来の姿」を予測する



バックキャスティング
Backcasting
現在や過去を気にせずにメンバーが描いた「未来のあるべき姿」を起点にして計画を立てる